

名古屋から発信。世界運河会議

5月21日（金）から23日（日）にかけて行われた「世界運河会議」。いろいろなセッションの中の一つ、ダイバーシティ・セッションのファシリテーターをさせていただきました。

☆世界運河会議 (<https://icf-nagoya.jp>) は

「世界の英知を集め、中川運河など NAGOYA の水辺に新たな感動空間を創出する」というテーマで専門家の方々のセッションがありました。会議の最後には、「NAGOYA モデル」を宣言して終わるといふものです。

運河と言えば、オランダ！オランダの運河を中心としたまちづくりのお話はとても興味深いものでした。都市計画で、まち中を縦横に走る運河をゾーンに分け、開発の趣旨が異なる計画で、試行錯誤も含めてさまざまな挑戦をし続けていました。

☆ダイバーシティ・セッションでは

最終日の午前中に行われたのが、このセッションでした。中川運河沿いの企業や市民が集い、これからどんなことをして中川運河を楽しむのか、ご自分の立場では、こんなことしたい！できるかもの話し合いをするセッションでした。

ダイバーシティ・セッションは「アート&クリエイティビティ」「水辺からはじまる都市戦略」「市民・企業が支える水辺マネジメント」の3つのグループに分かれて話し合いました。

担当したセッションでは、もう10年以上も取り組んでいる方々ばかりで、「疲れちゃったよ」との声もきました。先が見えない、誰が責任をとって旗を振るのか？など10年の実績から、課題も見えてきています。

よく聞いているとパワーや熱意はあるものの、次のステージに行くための理由や呼びかけるキーマンを探していることが分かってきました。変わりたいという思いが伝わってきました。次のステップに向かうためには必要な話し合いだったなあと思いました。



☆公の場で話すこと

たまには、みなさんが見ている中でグループワークするのも悪くないと思いました。普段とは違う雰囲気、ちょっと緊張しますが、その分、アイデアも浮かんできたようです。非日常も大切ですね。

*開催まで1か月を切った中で、急遽オンライン開催に切り替わりました。決断をしたこのセッションの責任者、そしてそれを支えた部下集団。もちろん、私たちファシリテーター、急にお願したテクニカル・ファシリテーターのみなさん。グラフィック・レコーダーのみなさんも素敵！チームワークと達成感をいただきました♡